

8月9日に〈夏休み工作塾〉がグループわとこうべ市民福祉振興協会との共催で、しあわせの村の研修館のホールと大会議室で開かれ、400人を超す親子連れの熱気と歓声で溢れました。

グループわは7グループ（木工グループ、ケナフの会、むかしあそび研究会、里山和楽会、絵手紙グループ、花実の森PJと里山グループ）と本部からスタッフ100人が出て、子供たちに作品工作のアドバイスをしたり、手伝ったりして、大忙しの日でした。

一番早い人は8時半から並び朝早くから長蛇の列でした。



大きな会場ですが人がいっぱいです。



最後に色付けをしてトラが完成！

ケナフの会



Bブースは3グループ

ケナフの紙すき押し花をきれいに置きます。



お母さんも、スタッフも真剣です。



Aブースは木工グループ



各ブース1作品です。どれにしようかな。



押し花絵葉書・葉の制作です。



ゴシゴシと切り、コンコンとくぎ打ちで、にぎやかです。

お父さんも夢中。

むかしあそび研究会 折り染め 和紙を折って顔料で染め、そしてウチワと小物入れをつくります。



小物入れ



ウチワの
貼り付け



個性ある作品です。 みんな真剣！

里山和楽会
ドングリや木片、小枝を使ったネイチャークラフト



Cブースは
4グループ



里山グループ
つる細工

リース制作に
挑戦しています。

花実の森PJ

バーニングアートでは、木片を焼いて絵を描きます。



長い時間をかけて、根気よく描いています！



絵手紙グループ



下絵をかいています。



絵手紙
色付け中！

むかしあそび研究会 竹細工



親子とも夢中で制作中です。



器械体操人形
を制作中。

お父さんも真
剣です。

各ブースより1作品、合計3作品を作成します。
完成した作品を大事に持って、自慢そうな顔、満足した顔。
子供たちの笑顔に、手伝ったスタッフも満足そうです。

(広報 岡本紘一)